

交通事故の撲滅を願って

春の全国交通安全運動・旗の波運動 ^{4/}15



▲小学校前で注意を呼びかける参加者

4月6日(日)から15日(火)までの間、春の全国交通安全運動が行われ、その最終日にあたる4月15日(月)に旗の波運動が実施されました。

町交通安全協会の役員や沼田長生クラブの会員、沼田保育園の園児たちが参加し、「スピードダウン」「シートベルト着用」と書かれた旗を持って交通安全の啓発を行いました。

また沼田警察署員が行き交う車を止め、保育園児たちが啓発チラシや夜光反射材などの入った袋をドライバーに渡し、交通安全を呼び掛けていました。

地域活動に奉仕

沼田町赤十字奉仕団・沼田老人クラブ連合会総会 ^{4/}16



▲赤十字奉仕団講習会の様子

4月16日(水)健康福祉総合センターにて、平成26年度沼田町赤十字奉仕団(橋場富美子委員長)総会及び講習会が行われました。

総会では平成25年度の事業や決算、新年度の計画案が承認され、総会終了後、日本赤十字健康生活支援講習指導員の金田指導員、新家指導員による災害時高齢者生活支援講習が行われました。

指導員から災害が発生した際の心や体への影響、心構え等について話があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。

また、沼田町老人クラブ連合会(野道夫会長)の総会も同日に開催されました。町老人クラブ連合会は、沼田長生クラブと各地区の老人クラブ会員によって構成されており、老人クラブ相互の連絡協調と親睦、老人の福祉向上を目的とした団体です。

総会の冒頭、野会長より「単身の高齢者が150人近くおり、連合会として見守っていききたい。また健康づくりと共にボランティア活動を行い、もっと地域に密着し貢献していく必要がある」と挨拶があり、議案の審議が行われました。



▲沼田町老人クラブ連合会総会で挨拶する野会長

谷垣法務大臣が来町

車座ふるさとトーク ^{4/}20



▲谷垣大臣を囲んでのトークの様子

4月20日(日)谷垣法務大臣が沼田町へ来町し「車座ふるさとトーク」が開催されました。

車座ふるさとトークは関係府省庁の大臣、副大臣、政務官などが地域に赴き、テーマを決めて現地の方々と少人数で車座となって対話を行うものです。

今回「立ち直りを支える地域のチカラ～農業を通じた社会復帰支援～」をテーマに、法務省より谷垣大臣が出席し、沼田すずらの会や沼田明日萌の会などから13名が参加して開催されました。

谷垣大臣は午前中に就業支援センターを見学したあと、午後からは就農支援実習農場を訪問し椎茸発生棟や選果作業について担当者からの説明を受けていました。

車座ふるさとトークでは参加者から、支援センターの少年たちとの食事会や交流を通じて感じたこと、支援センター開所当時の話や現場で感じたことなど、谷垣法務大臣と約90分間にわたって終始なごやかな雰囲気に対話が行われました。

目指せ運動会で1等賞

小学校グラウンドでかけっこ教室^{4/29}



▲100mのタイムを図る参加者

4月29日(火)昨年完成した小学校グラウンドでぬまたエンジョイスポーツクラブ(森田弘美理事長)によるかけっこ教室が開催され11名の児童が参加しました。

当日は町保健福祉課の松野健康運動指導士が100mのタイムを計り、走り方のコツや速く走るテクニックなどを指導し、参加した子供たちは一生懸命に速く走れるよう、指導士の話を聞き真剣な表情で取り組んでいました。スタートダッシュや、追い抜き方など走るヒントがたくさん詰まった教室は、運動会に向けて合計3回行われます。

太古の歴史を感じて

化石体験館オープン^{4/29}



4月29日(火)化石体験館が今年度の営業を開始し、多くの来場者で賑わいを見せました。

今年最初の入館者は小学校3年生の男の子で、去年は札幌から毎月来館していたという強者でした。

午後からは木村方一名誉館長が「白亜紀の北海道」をテーマにトークイベントが行われ、参加者からは羽幌町の亀の卵化石には「どうしてそれが亀の卵とわかるのか」という鋭い質問が飛びましたが、木村先生からは「殻の微細構造を電子顕微鏡で調べたことによってわかりました」というわかりやすい回答がありました。その後もミニ発掘など館内での体験メニューを利用される方が続き、閉館時間まで多くの来場者で賑わいました。



◀体験メニューを楽しむ来館者

海外販路拡大を目指し

Japan ブランド育成支援事業報告会・海外の稲作事情に関する研修会^{4/30}



▲海外の稲作事情に関する研修会の様子

4月30日(水)生涯学習センターでJapanブランド育成支援事業報告会、海外の稲作に関する研修会が町、商工会、農協、農業委員会、中山間地域等直接支払制度推進協議会の主催で開催されました。

最初の報告会では経済産業局の補助を受けた特産品開発の経過や、今年1月にアメリカで実施されたフードショーへの出品内容について、吉住商工会長から説明があり、次に金平町長からアメリカの大規模農業について研修を行った時の報告が行われました。

海外の稲作事業に関する研修会では、アメリカ在住でユニコム・コンサルティング(株)の代表取締役市川崇規氏が「カリフォルニア州の稲作」をテーマに、現地での大規模農業経営や、アメリカにおけるT P Pへの関心度などについて講演を行いました。

農業関係者や、商工業者など約70名が参加し、会場ではカリフォルニア米と雪中米の食べ比べや、トマトをベースにした「雪中米ディップ」の試食も行われました。

沼田町観光元年

沼田町観光協会総会・雪なごり試飲会^{4/23}



▲挨拶をする吉住会長

4月23日(水)沼田町観光協会総会(吉住淳男会長)が行われ、終了後に平成26年産の雪なごりの試飲会が開催されました。

総会では吉住会長が「事務局を役場から商工会へ移動し、町の柱として観光を強化していきたい、本年を観光元年と位置付けて法人化を視野に活動を行っていきたい」と挨拶し、25年度事業決算、26年度予算等が承認され新たな観光協会としての一步を踏み出しました。

総会終了後の26年産雪なごり試飲会では、小泉清彦酒類販売店組合長が「町の条例で最初の乾杯は雪なごりにするなど町を挙

げて広くPRしていただきたい」と挨拶し、本年のお酒の特徴などについて説明していました。参加者からは「今年の雪なごりはいい出来で飲みやすい」など好評でした。

毎月5のつく日は

萌の丘ハイキング^{4/25}



◀▲雪が残る中で今年初めてのハイキングを楽しむ参加者たち

4月25日(金)に今年で9年目となる「萌の丘ハイキング」の歩き始めが行われました。萌の丘ハイキングは毎月5のつく日に開催し、町内だけでなく年に数回は町外でも開催するなど、多くの方が参加する人気の行事となっています。

当日は約30名の方が役場前に集合し、金平町長は「自分の健康は自分で作るもの、友達を誘いながら楽しくハイキングしてください」と挨拶し、参加者は車に乗り合わせて萌の丘へ向かいました。

例年この時期には雪解けが進んでいる萌の丘も、今年は雪が多く残って参加者も驚いた様子でしたが、会話などをしながらハイキングを楽しんでいました。

久しぶりの芝の感触を楽しんで

雨竜川運動公園パークゴルフ場オープン^{4/29}



▲今シーズンの打ち初めを行った教育長と参加者

4月29日(火)雨竜川運動公園パークゴルフ場がオープンし、106名の方が久しぶりのプレーを楽しみました。

オープニングセレモニーでは生沼教育長が「久しぶりの芝の感触を楽しんでください、皆さんに喜んでいただけるようしっかりとコース管理をしていきたい」と挨拶し、沼田町パークゴルフ協会の会員と教育長による打ち初めが行われ、参加者は早速それぞれのコースに分かれてスコアを競い合っていました。

また、オープン記念として沼田町ライオンズクラブ(墓田邦晃会長代理)から、集まった方々に健康増進の意味を込めて、沼田町産のトマトジュースがプレゼントされました。

綺麗な町を目指して

クリーン沼田空き缶回収一斉運動^{5/11}



▲まちなかの空き缶を拾う参加者

5月11（日）、沼田町内一円において、クリーン沼田空き缶回収一斉運動が行われました。晴天にも恵まれ、279名の町民が参加しました。開始にあたり、金平町長から「今日だけでなく、日頃から空き缶などをみつけたら拾っていただきたい。」と挨拶。また沼田小学校の児童会長である久本夏海さんから「街にゴミが落ちてると嫌な気分になる。私達こどももポイ捨てしないようにするので、大人たちもしないでほしい。」と町民に向けてお願いがありました。その後、参加者はバスに乗り込み、各地域に分かれてたくさんの空き缶などを回収していました。



自衛官への窓口

自衛官募集相談員委嘱状交付^{5/13}



▲委嘱状の交付を受ける久本さんと鷲尾さん

5月13日（火）自衛官募集相談員に対する委嘱状の交付が行われました。

募集相談員は吉井昭一さん、久本博美さん、鷲尾節雄さん、吉澤英範さんの4名で、沼田町長、自衛隊旭川地方協力本部長の連名で委嘱状が交付され、任期は2年間で、自衛隊協力会や父兄会が実施する募集支援活動に対する支援協力活動を行います。

ご存知ですか健康遊具

沼田小学校グラウンドで健康遊具教室^{5/20}



▲健康遊具の使い方について説明する松野指導士

5月20日（火）沼田小学校グラウンド前に今年新たに、ブランコなどの遊具と並んで設置された5つの健康遊具の正しい使い方等について、健康遊具教室が開催されました。

ラジオ体操終了後に約20名の方が参加し、松野健康運動指導士から健康遊具の使い方について説明を受け、実際に使って感覚を確かめていました。

金平町長からは「皆さんが使ってくれると小学校の防犯にもなる、気が向いたら時間を気にせずに使ってほしい」と参加者に呼びかけ、参加者は初めて使う器具に戸惑いながらも楽しんで使用していました。

ゆっくり景色を眺めながら

観光協会がノロッコ号・明日萌駅で観光PR^{4/29~5/6}



▲乗客にパンフレットを配る関元事務局員



▲恵比島駅での特産品販売の様子

ゴールデンウィーク初日の4月26日（土）から増毛ノロッコ号が運行されました。

中日の29日（火）に集った約70名の乗客は、晴れ渡る青空ののんびりとした気分で走るノロッコ号の車窓から景色を眺め春の訪れを感じていました。

石狩沼田駅から恵比島駅（明日萌駅）までの区間では、沼田町観光協会（吉住淳男会長）の関元事務局員（地域おこし協力隊）がノロッコ号に乗り込み、沼田町の観光パンフレットを配りながら沼田町のPRを行いました。

また、ノロッコ号でのPRに併せて5月3日（土）～6日（火）のゴールデンウィーク期間には、今年初めて明日萌駅で特産品のトマトジュースやトマトケチャップの販売を行いました。

期間中は駅での販売を事務局員が連日交代で行い、訪れた多くの観光客に観光スポットの紹介や、特産品の説明を行いこれからの観光シーズンへ向けて沼田町のPRに奮闘していました。

増毛ノロッコ号は、5月6日（火）まで毎日運行され、留萌や増毛の特産物が当たるスタンプラリーなども実施されました。

ステージショーや駄菓子まき

ほたる館GWまつり^{5/3~5}



▲嶋淳一さんのステージショー

5月3日（土）から5日（月）の3日間、ほろしん温泉ほたる館でGWまつりが開催されました。

初日には駄菓子まき、翌日はビンゴ大会や歌手の嶋淳一さんのステージショー、最終日にはピエロのバルーンアートショーが行われ、大人から子供まで多くの入館者で賑わいました。

また、隣接する化石体験館でも連休中は町内・町外からの親子や友人同士が化石発掘、原石や磨き石のミニ発掘など体験メニューを楽しんでいました。

青少年の健全育成を支援

沼田明日萌の会定期総会^{5/7}



▲総会で挨拶をする高田会長

5月7日（水）、健康福祉総合センターにおいて、沼田明日萌の会総会（高田勲会長）が行われました。同会は沼田町就業支援センターで生活する青少年の健全育成を支援することを目的としており、今年で設立7年を迎えます。会議の冒頭、高田勲会長より「少年達には気軽に町の行事に参加していただきたい。私たちも肩肘を張らずに、さりげなく少年達を見守っていきたい。」と挨拶されました。

また、総会終了後には今年度より就業支援センターに赴任された小笠原仁統括保護観察官を講師とした研修会が開催されました。小笠原統括保護観察官から就業支援センターにおける少年の入所者数の推移や現代の少年事件の推移などについて説明があり、受講者は時折うなずきながら、熱心に耳を傾けていました。

表彰

これからもお元気で

藤間ハル子さんが100歳



▲金平町長から賞状を受け取る藤間さん

各種団体や町内企業の皆さんが各種方面での活躍に対して、表彰されましたのでお知らせいたします。

5月12日（月）、町特別養護老人ホーム旭寿園で100歳を迎えた入所者の方に町から長寿祝金の贈呈が行われました。

この日、お祝いを受けた藤間ハル子さん（大正3年5月10日生）は、金平町長から賞状と花束、長寿祝金が贈られ、「おめでとう」の呼び掛けに笑顔で答えていました。

沼田町の振興に尽力

久保寛さんに特別功労者表彰



▲特別功労者表彰の表彰状と記章

元沼田町議会議員の久保寛氏（80歳・市内1）に特別功労者表彰が贈られました。

久保氏は沼田町議会議員を昭和50年5月から平成19年4月まで8期32年務められ、副議長をはじめ多くの委員長職を歴任され、議会の円滑な運営と、沼田町の振興発展へ多大な功績を残されました。

農商工の連携を密に

沼田町商工会第54回通常総会で優良産業表彰



▲神副町長から表彰状を受ける長島さん

5月17日（土）観光情報プラザで沼田町商工会（吉住淳男会長）の54回目となる通常総会が開催されました。

総会で吉住会長から、「今年度は柱として、農商工の連携や買い物対策の問題、観光協会との連携を行っていきたい」と挨拶がありました。

議案審議の前には、他の模範となる商工業者として沼田町優良産業表彰が、神副町長から「長島板金工業所」の長島明さんに贈られました。また、商工会理事、監事として長年に亘り商工会活動に多大な貢献をされたとして、空知管内商工会連合表彰が上林達夫さん、岩田幸博さん、渡邊健三さんの3名に贈られました。

会場には、会員と来賓合わせて約50名が出席し、議案審議では質問や意見が活発に交わされる中、提出された全ての議案が承認されました。

◆被表彰者名簿◆

●沼田町優良産業表彰

長島 明 氏（長島板金工業所）

●空知管内商工会連合表彰

上林 達夫 氏（お食事の店上林）

岩田 幸博 氏（教和建設㈱）

渡邊 健三 氏（㈱渡辺デンキ）

▲総会で挨拶をする吉住会長

美味しいお米に育って

5年生が田植え体験^{5/22}



5月22日（木）に沼田小学校（藤森正男校長）の5年生21名が総合学習の時間を利用し、今年初めて田植え体験を行いました。

最初は慎重に田んぼに入っている児童たちでしたが、時間が経つにつれて慣れてくると早い児童では30分程度で植え終わり、間隔の広い場所などに挿し苗を行っていました。

今回はスノークールライスファクトリー南側、5aの田んぼに「ななつぼし」の苗を植えました。今後は苗の生育状況の観察や収穫作業を食育の一環として行い、美味しく実ったお米でおにぎりを作る予定です。



▲悪戦苦闘しながら田植えをする児童たち

8/22・23開催

第1回夜高あんどん祭り実行委員会^{5/22}



▲実行委員会で挨拶する吉住会長

5月22日（木）観光情報プラザで北海道三大あんどん祭りのひとつ、本町最大の祭りである「夜高あんどん祭り」の平成26年度第1回実行委員会総会が行われました。

会議には30名以上が出席し、吉住会長が「今年は例年になく早い開催になりますが、若いメンバーでより良くする検討も行っています。また、開拓120年の節目の年なので、皆さんと力を合わせてがんばっていききたい」と挨拶。つづいて渡部稔夜高保存会長、木村茂典沼田警察署長の挨拶の後、議事に入り、提案された議案すべて承認され、8月22日（金）23日（土）に開催する祭りに向け、スタートを切りました。